

令和5年第3回定例会一般質問

日 時 9月5日(火)、6日(水)、7日(木)、8日(金)
いずれも午前10時から
※質問、答弁を含んで概ね1人60分

内 容 発言通告書(一般質問)のとおり

| 発言順 | 議員名 | 質問日(予定) |
|-----|---------|--------------|
| 1 | 吹春 やすたか | 令和5年9月5日(火曜) |
| 2 | 鈴木 成夫 | |
| 3 | 小林 正樹 | |
| 4 | 五十嵐 京子 | |
| 5 | 水谷 たかこ | |
| 6 | 沖浦 あつし | |
| 7 | 村山 ひでき | 令和5年9月6日(水曜) |
| 8 | 高木 章成 | |
| 9 | 古畑 俊男 | |
| 10 | 渡辺 ふき子 | |
| 11 | 遠藤 百合子 | |
| 12 | 安田 けいこ | 令和5年9月7日(木曜) |
| 13 | 岸田 正義 | |
| 14 | 清水 がく | |
| 15 | 坂井 えつ子 | |
| 16 | 斎藤 康夫 | |
| 17 | たゆ 久貴 | |
| 18 | 水上 洋志 | 令和5年9月8日(金曜) |
| 19 | 河野 麻美 | |
| 20 | 森戸 よう子 | |
| 21 | 渡辺 大三 | |
| 22 | 片山 かおる | |

一般質問の通告について

発言順

3

令和 5年 8月 24日
(西暦 2023)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

小林 正樹

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|--|----|
| <p>1. <u>災害時のトイレ問題について。</u></p> <p><u>9月1日は防災の日です。発災後に生活環境の悪化やストレスが原因で亡くなる災害関連死への対策も重要とされています。中でも大きな要因の一つとされているのが、自宅を含む避難生活での「トイレ問題」が挙げられます。</u></p> <p><u>ア) 避難所でのトイレ環境について現状と課題について</u> <u>イ) 自宅避難時のトイレ問題への対策の周知について</u> <u>ウ) 進化したトレーラー型移動式トイレを常設しないか</u> <u>(上下水道が使えない場合でも利用可能)</u></p> <p>2. <u>単身高齢者の住居問題について</u></p> <p><u>健康面や孤独死などへの懸念などからも、単身高齢者の住居問題は大きな課題であり、今後もさらにその対策は急務である。小金井市においても適切な検討が求められる。</u></p> <p><u>ア) IoT技術を活用した最新の見守り制度を導入しないか</u> <u>イ) 「おたすけあんしんパック」(社協)の周知と活用について</u></p> | |

一般質問の通告について

発言順

4

令和5年8月25日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

五十嵐京子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。
記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|---|----|
| <p>1 武蔵小金井駅北口再開発の動きについて 6月議会の建設環境委員会に、武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発準備組合発行の「まちづくりニュース」創刊号が配布されました。ようやくこうした形で情報発信ができるようになったことは歓迎すべきことと思う。 ア) 地域の方々には待ちに待った情報だろうと思われる。今後、決まったことを発信するこのまちづくりニュースを北側の一定の範囲でも配布していただくことはできないか。 イ) 公共で使用できる空間の確保への考えは。 ウ) スケジュールも示されたが、市が資金的準備しておく時期は？</p> | |
| <p>2 図書館本館の将来についての考えを問う 図書館基本計画によると、現状は貫井北分室を除いて収蔵能力は既に限界を超えていることが指摘されている。 ア) 既に限界を超えている図書館本館の建替えなどの計画を立てる必要があるのではないか。 イ) 公共施設マネジメントの計画では、建物に関しては長寿命化可能となっているが、ソフト面との調整をどのように図るのか？ ウ) 行政が保管すべき文書類の将来について、対応策をどのように構築しているのか？</p> | |

一般質問の通告について

発言順

5

令和 5年 8月25日
(西暦 2023)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

水谷 たかこ

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|--|----|
| <p>1 DX推進で業務を効率化し、市民サービス向上を加速しよう</p> <p>(1) アクションプラン「AI・RPAの利用促進」の現在の状況は</p> <p>(2) 生成AI (ChatGPT等) 活用の検討状況、課題と今後の展望は</p> <p>(3) プロンプト・エンジニアリングの研修をしないか</p> <p>(4) 電子契約システム導入の検討状況は</p> <p>(5) 「ガブテックTOKYO」に参加するのか。期待できることは何か</p> <p>(6) 市内事業者のデジタル技術導入を支援しないか</p> <p>【趣旨】小金井市のDX推進アクションプランは、柱のひとつに「デジタル技術を活用した業務効率化の推進」を掲げている。その主な取組項目の「自治体のAI・RPAの利用促進」はすべての課が対象であるところ、東京都は8月23日から生成AI「ChatGPT」の活用を始め、近隣の小平市や東大和市でも7月下旬から試行を始めている。先進自治体である神奈川県横須賀市の取組みや東京都のガイドラインを参考に、本市でも早期に導入し業務効率化を急ごう。</p> | |
| <p>2 子育てスタート期の支援を拡充し、地域とつながり子育てするしくみをつくろう</p> <p>(1) 産後ケア事業の現状と課題、今後の展望は</p> <p>(2) 保健師・助産師等が学齢期まで寄り添うしくみを</p> <p>(3) 0～2歳児で保育園を利用していない家庭への支援拡充を</p> <p>(4) 子育て応援券を導入しないか。また、こども商品券のデジタル化でコストを削減し、使える場所を増やすはたらきかけを</p> <p>【趣旨】産後ケア事業は利用者の評価が高い。心身ともに休めるだけでなく、育児の具体的なアドバイスや悩み相談など、その後の子育てにおいても頼りにできる助産師・保健師とのつながりを作るのにとっても有効であり、事業拡充が望ましい。また、地域の支援機関とつながるきっかけとして、子育て応援券の導入検討やこども商品券の加盟店拡充に積極的に取り組むべきである。</p> | |

一般質問の通告について

発言順

6

令和 5年 8月 25日
(西暦 2023)

(宛先)
小金井市議会議員 様

小金井市議会議員

沖浦 あつし

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容 | 備 考 |
|---|-----|
| <p>第5次小金井市基本構想 前期基本計画 施策4 市街地の整備／施策5 住環境の整備</p> <p>①民法 233条(竹木の枝の切除及び根の切取り)の改正(令和5年4月1日施行) による本市の対応を問う。</p> <ul style="list-style-type: none">◆市道に越境した樹木について◆現場での対応について◆市民への改正点の周知について <p>施策17 芸術文化の振興</p> <p>②市民交流センター“宮地楽器ホール”について 「またこのホールを利用したい」と思われるよう、利用環境の課題と改善策を問う。</p> <ul style="list-style-type: none">◆催しや企画の打ち合わせについて◆附属設備について◆和太鼓などの楽器について <p>施策21 スポーツの振興</p> <p>③スポーツ環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none">◆市内に一つしかない市営の屋外グラウンドである 上水公園運動施設“(通称)市営グラウンド”の整備レベル向上について 具体的検討の進捗状況を問う。 | |

一般質問の通告について

発言順

7

令和5年 8月 28日
(西暦2023)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

村山ひでき

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|--|----|
| <p>まちのにぎわいづくりを設計し地域経済の振興を</p> <p>(1) 小金井市産業振興プランについて ①取組状況の現状確認 ②成果と課題のフィードバック</p> <p>(2) キャッシュレス推進とデジタル地域通貨 ①これまでのキャッシュレス事業と今後の展開 ②デジタル地域通貨のメリット ③さくらポイント事業が抱える課題の解消</p> <p>(3) さらなる地域経済の活性化策 ①創業・起業支援 ・こがねいコモンズと「ほこみち」制度 ・農工大・多摩小金井ベンチャーポート ・コウカシタ・ヒガコインキュベーション ②商工会・商店会連合会等との定期的な意見交換</p> <p>(4) 包括施設管理業務委託の必要性 ①入札契約制度：市内業者の受注率向上を期待 ②今夏における各施設の空調設備の故障から</p> | |

一般質問の通告について

発言順

8

令和 年 8月28日
(西暦2023)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

高木 章成

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|---|----|
| 1 転倒事故予防にヘルメット等の普及を (1) 高齢者・障害者の転倒事故・事案の把握の状況について (2) 「自立生活支援用具」の「頭部保護帽（ヘッドガード）」の助成対象と使用方法について (3) 「自転車用ヘルメット」の助成対象と使用方法について (4) 介護予防のためヘッドガードやヒッププロテクターを横出し給付できないか (5) 登下校時の児童・生徒のヘルメットの着用と授業中の保管について (6) 公民館・図書館における椅子と背もたれ・ひじ掛け等の状況について (7) 市立学校における椅子と背もたれ・ひじ掛け等の状況について (8) 集会施設における椅子と背もたれ・ひじ掛け等の状況について (9) ヘルメット、ヘッドガード等の普及について一体化して広報を行えないか | |
| 2 来年度予算編成に向けて (1) 今年度予算の執行状況と評価・課題について (2) 査定の過程とあり方について (3) 百井市長の政策意思と予算への反映について | |
| 3 「緊急事態条項」としての専決処分の運用について (1) 「緊急事態条項」について (2) 2006年、2012年の地方自治法改正について (3) 本市における専決処分の運用状況について (4) 専決処分の考え方について (5) 西岡前市長による議案第52号「小金井市立保育園条例の一部を改正する条例」の専決処分について | |

一般質問の通告について

発言順

9

令和 5年 8月28日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

古畑 俊男

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容 | 備 考 |
|---|-----|
| <p>小金井3. 4. 1号線に係る諸問題について</p> <p>2018年(平成30年)北多摩南部建設事務所が作成した「道路概略検討」ほか、2022年(令和4年)環境調査計画検討までの各調査成果品を読み解き、当該路線についての諸問題を質す。</p> | |

令和 5年 8月 28日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

渡辺 ふき子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容 | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1, 学校における命の授業の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 文部科学省では子供たちを性犯罪・性暴力の被害者や加害者・傍観者にしないことを目標に、命の安全授業を推進している。 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の小中学校における「命の安全授業」の実施状況と今後について ② 若い世代で性感染症が急増しており、若者に対し正しい知識を届ける必要性を指摘する声がある。学校現場で健康教育において正しい知識と適切な行動を学ぶべき。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校における性教育の現状について ・命と健康を守るため、年齢に応じた正しい性教育を行うべき ・助産師による命の授業（性教育を含む）を実施しないか ③ がん教育等、外部講師による命の授業の実施状況 <p>2, 子どもの読書活動推進に最も身近な学校図書館の充実を 子どもの成長において読書活動は重要だが、全国の自治体において交付税に占める学校図書館の購入費の割合は下がっているとの指摘がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市内の学校図書館の図書標準の達成状況について <ul style="list-style-type: none"> ・図書購入費について適切な予算措置は行われているか ・廃棄と更新は適切に進められているか、基準は決まっているのか ・地域の書店の活用状況について ② 学校図書館司書の配置状況等の環境整備について <ul style="list-style-type: none"> ・適切な配置が確保されているか ・各学校における子どもの読書活動の推進への現状 ・1人1台端末の活用や電子書籍の貸し出しについて ・市立図書館との連携について <p>3, 投票率向上のため、誰もが投票しやすい投票所の整備を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他自治体を参考に、障害のある人や高齢者等が投票所でサポートを受けやすい「投票支援カード」や「コミュニケーションボード」を導入しないか | |

令和5年8月28日
(西暦2023)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

遠藤百合子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|--|----|
| <p>1, 「子どもたち」みんなで見守り地域の中で <u>子どもの安全安心の確保は家族にとって最大の関心事で、社会全体で取り組むことが必要です。</u> <u>(1) 子どもを見守る家、カンガルーのポケットの現状および今後の方向性は</u> <u>(2) 登下校時の見守り体制は</u> <u>(3) 防災行政無線の「ふれあいメロディー」の活用</u> <u>(4) 安全安心まちづくり条例の具体的動向</u> <u>(5) 安全安心メール配信システムの現状と利用拡大</u> <u>(6) わんわんパトロールの現状認識と今後</u> <u>(7) 民間事業者との連携</u></p> <p>2, LGBT理解増進法の課題と対策 <u>(1) LGBTや同性パートナーシップに関する基本的な考え方は</u> <u>(2) 性の多様性に関する条例をどう捉えるか</u> <u>(3) 公共施設への女子トイレ並びにジェンダーレストイレ設置に関する考え方は</u> <u>(4) 小中学校向けの副読本・啓発資料に関する考え方は</u> <u>(5) 教師向けの指導資料に関する考え方は</u></p> <p>3, 薬物乱用防止を更に進めていくために <u>(1) 教育委員会としての指導は</u> <u>(2) 健康課の取り組みは</u></p> | |

令和5年 8 月 28 日
(西暦 2023)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

安田けいこ

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|---|----|
| <p>(1) HPVワクチン接種について</p> <p>HPVワクチン接種の積極的勧奨が再開され、市内で副反応被害が明らかになった。学齢期の子どもにワクチンを接種するリスクについて問う</p> <ul style="list-style-type: none">・副反応被害者のその後の経過と行政の対応は・男子もワクチンで予防できるとされる病気について（肛門がん、尖圭コンジローマ等）・HPV自己検査キットの導入について・包括的性教育について | |
| <p>(2) 子どもの外遊びや自然体験の機会を増やそう</p> <p>コロナ禍を経て子どもの外遊びや自然体験の機会が減っている。身近な公園を活用し、子どもたちの遊びの場を広げよう</p> <ul style="list-style-type: none">・出張プレーパークで冒険遊び場事業を拡充しないか・緑公民館のかまどの活用について | |
| <p>(3) 災害時の断水へ対応について</p> <p>私たちの命をつなぎ、衛生状態を保つために、なくてはならない水について、平時に確認しておきたい</p> <ul style="list-style-type: none">・給水ステーションで供される水の安全性について・発災時の震災対策用井戸の運営について・市民への情報提供について | |

令和 5年 8月 28日
(西暦 2023年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

清水 がく

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容 | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1. <u>来夏に向けた「クーリングシェルター」開設の取組みについて</u> 今年4月の改正気候変動適応法成立により、来年までに同法が全面施行される。これにより、「熱中症警戒アラート」に加え、さらに深刻な健康被害が予想される場合に、一段上の「熱中症特別警戒アラート」が新たに発表されることになり、その際には自治体は事前に公共施設や民間施設を対象に「クーリングシェルター」として指定し開放することが求められる。来夏に向けて今から準備を進めていかなくてはならない。</p> <p>(1) 現在の市の取組みについて (2) 来夏に向けて検討されている、検討すべき取組み内容について</p> <p>2. <u>本市における就労準備支援事業について</u> 小金井市社会福祉協議会では今年4月より、生活困窮者自立支援法に基づく、就労準備支援事業が開始された。社会につながっていない方を対象とし、生活習慣の立て直し、社会の中で役割をもち、地域の中で自身の存在を実感できる、生きがいを持って生き生きと生活できることを目的とした事業である。市内事業者が抱える課題と、就労準備支援事業のさらなる活用について検討する。</p> <p>(1) 就労準備支援事業の本市のこれまでの取組について (2) 市内事業者が抱える課題（短時間での人手不足等）と就労準備支援事業（当事者の意向に合った）との連携における、市の取組について</p> <p>3. <u>男子へのHPVワクチン接種の必要性について</u> 令和4年度より順次、HPVワクチンの個別勧奨を再開したところだが、男子へのHPVワクチン接種については行われておらず、市からは国や都の動向を注視する、女性への接種を優先し着実に取り組んでいく旨の答弁があったが、がんで苦しむ方を減らしていくためにも、本市においても助成を行うべきと考える。</p> <p>(1) 男性へのHPV接種は、男性自身の中咽頭がんや陰茎がん、肛門がん等を予防するだけでなく、パートナーへの性感染症の予防することにもある取組みであり、本市としても接種女性をすべきと考えるが、改めて市の見解を伺う</p> <p style="text-align: right;">以上</p> | |

2023年 8月 28日

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

坂井えつ子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容 | 備 考 |
|--|-----|
| <p>1 「香りのマナー」ではなく、香害・化学物質過敏症として捉えた周知を横断的に行おう！</p> <p>(1)国は、「知ってください。その香り困っている人もいます」として、消費者庁、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、環境省合同で作成したポスターの文言を改定した。7月19日には、「管轄する機関に改めて情報提供」を依頼する事務連絡を出している。 ①市内における周知状況は。②各管轄で受けた相談事例はあるのか。 A 保健センター B 医療機関 C 高齢者施設 D 保育所等</p> <p>(2)市では、「香りのマナー」ポスター(問合せ：経済課)を製作し、周知している。 ① 消費生活相談室への相談はあるか。② 香りによる健康被害の声が出ていることから、「香害・CS(化学物質過敏症)」として捉えることが必要ではないか。</p> <p>(3) 障害者差別解消条例のパンフレットでは、「ともに生きる人はとなりにいるよ」として、化学物質過敏症もあげている。香害・CS(化学物質過敏症)のある方もともに生きる社会にするため、まずは周りの人が香害・CS(化学物質過敏症)を知ることが必要ではないか。</p> <p>(4) 化学物質は、環境政策課の所管だ。市ホームページでは、除草剤や殺虫剤等の使用にあたって、人体や環境への影響の懸念がある旨、掲載している。香りの強い柔軟剤等の周知も必要ではないか。</p> <p>(5) 香害・CS(化学物質過敏症)の横断的な周知を。市長の政策意思を問う。</p> <p>(6) 小中学校での現状は。①相談事例はあるのか。②周知状況は。</p> <p>(7) 学校現場の課題として注目されている給食着について ①相談事例はあるのか。 ②「担任の先生に申し出ていただきたい」と答弁が出ていたが、周知しているのか。</p> | |
| <p>2 “はけと野川を壊す道路”はいらない！</p> <p>白井市長就任からはや9ヶ月。小金井市選挙区選出都議と小金井市長が行っている定例面談があり、7月19日の面談では、「中止を求める要望書について関係機関と調整中であることをしっかりと確認した」と都議が発信している。このことについて、8月23日の建設環境委員会(協議会)で市長に問うと、「調整中」の答弁に留まった。議会では「調整中」以上の答弁ができない状況だと捉えている。</p> <p>(1) 要望書について ①その後、提出したのか。②市長に届いている市民の声はあるか。</p> <p>(2) 「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」は2025年まで。都と基礎自治体の会議など“第五次事業化計画策定に向けた動き”はあるのか。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> | |

一般質問の通告について

発言順

16

令和 5年 8月 28日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

齋藤 康夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容 | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1. 小児に対する新型コロナワクチン接種は慎重にすべきである</p> <p>(ア) WHOのワクチン方針では、小児と成人に対する「追加定期接種」は「推奨しない」である</p> <p>(イ) 日本医師会は「ワクチン接種後に副反応がある方には無理に進めない」と表明した</p> <p>(ウ) 第34回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料1では、12-15歳のワクチン接種後4ヶ月以降の発症予防効果がマイナスとなっている</p> <p>(エ) 厚生労働省は根拠もなく、小児に対し「努力義務」を課そうとしている動きが見える</p> <p>(オ) 日本の小児がワクチンの実験台となっているのではないか</p> <p>(カ) 大阪府泉大津市の南出市長はハガキ通知に留め、保護者に考慮させる機会を与えている</p> <p>(キ) 小金井市も同様に新型コロナワクチンの案内は、ハガキ通知にすべきである</p> <p>2. 新型コロナワクチン副反応・後遺症患者に対するケアをすべきである</p> <p>(ア) ワクチン接種後の死亡・体調不良者に対する国の調査体制が不十分すぎる</p> <p>(イ) 自治体から国に調査体制の充実を求めるべき</p> <p>(ウ) 小金井市ではワクチン後遺症患者はどの程度把握しているのか</p> <p>(エ) ワクチン接種後の体調不良者の相談窓口を設置すべき</p> <p>(オ) 自分の体調不良がコロナワクチンに原因があると知らずにいる人もいる。ワクチンの副反応について市民に周知すべき</p> <p>(カ) 大阪府泉大津市の「新型コロナウイルスワクチン健康被害支援金」を参考にすべき</p> <p>(キ) 令和4年の小金井市内におけるワクチン接種者数と全死亡者数の相関グラフを見てどのように解釈すべきか</p> | |

令和 5年 8月 28日
(西暦 2023)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

河野 麻美

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|--|----|
| <p>1 <u>優先整備路線（小金井3・4・11号線）について</u> 都市計画道路について、市長の方針とその後の調整状況について問う。</p> <ul style="list-style-type: none">・優先整備路線の必要性について・市長の要望書について・近隣市との調整状況について | |
| <p>2 <u>行政サービスのデジタル化について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・保育園の入所事務におけるデジタル化について・保護者から見た学校教育現場におけるデジタル化について | |
| <p>3 <u>小金井産農産物のブランド力向上について</u> 生産者にも消費者にも魅力が感じられる小金井市が誇る農産物のブランド力向上・販売競争力強化に努めないか。</p> <ul style="list-style-type: none">・現状の取組について・江戸東京野菜について・国分寺市の「こくベジ」の取組について | |

令和 5 年 8 月 28 日
(西暦 2023)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

渡辺 大三

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容 | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1 庁舎等建設問題は「合理的」に解決すべき</p> <p>「現設計」と「見直し案」をライフサイクルコストで比較してみた。 「現設計」は、70年スパンで試算すると、110億円を超える余計な支出を現在の市民と将来の市民に負担させる内容になっている(110億円となれば、庁舎及び福祉会館を「もうひとつ」建築する費用に匹敵し、また、賃貸庁舎(第二庁舎)の50年分の賃料に匹敵する。</p> <p>財政見直し「十分成り立つ」の根拠は。</p> <p>貴重な市有地(蛇の目ミシン工場跡地)は、市民の多様なニーズを充足させる使い方をして、最有効使用すべき。</p> | |
| <p>2 連雀通り狭隘部分の交通安全確保策について</p> <p>「逆転の発想」による歩行者の安全確保策について。可能性を問う。</p> | |
| <p>3 毎年度、市民にわかりやすい「財政白書」を</p> <p>先進自治体の事例を参考にして、毎年度、市民にわかりやすい内容で「財政白書」の作成を。</p> | |

2023年 8月 28日

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

片山おひろ

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|---|----|
| <p>1. 「難民を支える自治体ネットワーク」への参加を</p> <p>小金井に暮らす外国籍市民や子ども、難民申請中の方や仮放免中の方、難民認定された方等の状況や困っていることを把握し、市としてできる支援に取り組むことが、本来の国際交流、平和外交、共生社会につながると考える。 小金井に民間の難民支援センターができたことをきっかけに、難民や外国籍市民等への支援と理解を深める取り組みをはじめないか</p> <ol style="list-style-type: none"> 2020年に鎌倉市に開設された「アルペなんみんセンター」の2つ目のシェルターとして「アルペなんみんセンター小金井」が4月に市内に開設され、シェルター支援・定住支援が行われている。市はどのように認識し把握しているか。 鎌倉市の「鎌倉なんみん共生フォーラム」の取り組みを参考に、小金井でも地域で難民への理解を深める勉強会や交流などの取り組みを始めないか。 2023年5月時点で日本を含めた世界55カ国286の自治体と共に鎌倉市が参加したUNHCR（国際難民高等弁務官事務所）と自治体の連携強化を目指すグローバルキャンペーン「難民を支える自治体ネットワーク」に小金井市も参加しないか。 小金井に住む仮放免者、難民等の把握と支援。社会福祉協議会の福祉総合相談窓口、居住支援相談窓口での外国籍市民からの相談は。居住支援協議会の課題として、住宅確保要配慮者となる外国籍市民への居住支援の方策の検討を。外国籍市民や難民などの相談や生活支援を行うために、国際交流協会のような体制をつくらないか。 外国籍児童への学校、保育等の支援体制は。日本語指導を必要とする子どもへの支援体制を整えるべきでは。 | |
| <p>2. 精神障がい者の退院・転院支援、地域での暮らしについて</p> <p>八王子の滝山病院での精神障がい者への虐待が明らかになり、NHKで『ルポ死亡退院～精神医療・闇の実態～』放映、新聞での報道などで問題があぶり出されたが、いまだに100人ほどの方々が入院を余儀なくされている。 8/23には「滝山病院問題を考える市民と議員の連絡会議」が発足し、現在、自治体議員、都議、国会議員、当事者や支援者も含め、230人以上の賛同が集まり、精神障がい者への支援体制を改めて検討する必要性が論じられている。 また、中井やまゆり園での虐待、津久井やまゆり園での殺傷事件を通し、入所施設での支援についても透明化や職員への支援が求められている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 精神病院入院や施設入所後の生活保護利用者も含めての状況把握、退院・転院支援の状況。 地域での暮らしの支援体制を。 精神医療をどのように変えていくべきか。 | |